

「経済振興特別区域」制度とは

県内各地域の固有の資源や特性を活かした産業振興計画のうち、優れたものを県が「特区」として認定し、区域と期間を限定して、産業基盤整備、県税の優遇や県が所管する分野の規制緩和などの支援を集中して行う制度です。



畑の棚田

本地域の特性と観光振興の考え方

高島市は琵琶湖・淀川水系の源流にあり、近畿1,400万人の命を育むとともに、古くから自然と共生した豊かな生活文化を育んできました。また、当市を舞台としたテレビ番組(NHK「里山」命めぐる水辺)は、国際的な映像祭で7つのグランプリを受賞するほか、市内に7つの「百選」を有するなど素材に恵まれた地域です。

当市では、人と人、自然と人のつながりに再び経済性を取り戻し、外部の人材やノウハウを活用しつつ、地域の人々や事業者のやる気やもてなしの心を引き出すとともに、挑戦する人材を育成する仕組みを作っていくことを考えています。

地域特性の自然・文化・観光などを活かした計画が評価される！

「びわ湖・里山観光振興特別区域」の認定 水の流れ 命育む 環の郷高島

2月21日に開催された第3回滋賀県経済振興特別区域認定審査・評価委員会において、高島地域全域が特別区域制度の認定を受けました。
高島市は、琵琶湖に面してその周辺に広がる田園地帯、その背後に展開する里山・森林といった豊かな自然環境と悠久の歴史の風土に恵まれた地域です。このことから、平成16

年6月には、環境省から環境保全と観光振興の両立を目指すエコツーリズム普及のためのモデル事業実施地区として、全国13箇所の一つに選ばれています。
当市の豊かな自然と文化である里山(ここでいう里山とは、人と自然がふれあう環境すべてを位置付けます)を基盤とし、在地の人と来訪す

る人が共感、共存することで地域に賑わいを取り戻すことを目的としたものです。
「6次産業のまち」の創造に取り組み当市の、観光を視点とした各種産業のつながりの創出に大きな支援策となることが期待される本計画について、概要をご紹介します。



海津大崎の桜

湖西 森と里と湖のミュージアムの具現化

今津港周辺の湖岸や街並み整備

JR近江今津駅・今津港周辺の湖岸や街並みを整備し、核となる観光地を創出し、修景による観光資源の集積を図り賑わいを創出します。
・町家を改修し、物販や飲食の店舗として活用する。
・今津港から新旭の湖岸をカヌー体験や湖辺の水と親しむ空間として活用する。

高島の自然や景観を活かした観光推進

当市の自然と生活文化を活かしたエコツーリズムを推進します。
・白神山地に匹敵する中央分水嶺・ブナ林を活用したエコツーリズムを展開する。
・里山での環境教育など、体験プログラムを提供を行う。
・体験農園とレストランを開設し、食をテーマとしたエコツーリズムを実施する。

地域の自律的發展

事業支援と観光の市場化

・特区事業推進のための市の施策
企業誘致条例・地域産業創造事業補助金・景観行政団体・重要文化的景観の指定に向けた取り組みなど
・事業支援
人材の発掘と育成(ビジネスプランコンテスト)・事業者の連携
・市全体の観光の市場化
情報の入り口整備と発信・商品や



魚止滝

サービスの編成
・地域プロデューサー会社の設立

今回紹介しました事業の内容は、認定申請にあたり計画したものです。今後認定期間中(5年間)には、市民の皆さんの提案などをもとに必要に応じて計画の見直しを

行っていく考えです。市民の皆さんとともに地域を考えていく「環の郷」の取り組みです。皆さんからのアイデアもお寄せください。
(商工観光課・企画調整課)



湖西の松林



中央分水嶺のブナ原生林



映像詩 里山



夏のメタセコイア並木



今津港周辺の街並み



琵琶湖周航の歌発祥の地